



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月11日

上場会社名 ホシザキ株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 6465 URL http://www.hoshizaki.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 靖浩
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 水谷 正 TEL 0562-96-1320
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	72,568	△4.6	9,559	△0.9	8,345	△18.8	5,503	△21.8
2019年12月期第1四半期	76,057	3.5	9,649	△11.2	10,271	22.5	7,041	23.3

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 3,852百万円(△48.2%) 2019年12月期第1四半期 7,437百万円(171.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	76.00	—
2019年12月期第1四半期	97.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	352,098	237,924	67.1	3,264.26
2019年12月期	351,887	242,038	68.4	3,321.31

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 236,399百万円 2019年12月期 240,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	0.00	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	72,421,650株	2019年12月期	72,421,650株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	1,031株	2019年12月期	1,031株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	72,420,619株	2019年12月期 1 Q	72,417,269株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済環境は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための大規模イベントの開催中止や不要不急の外出自粛等により、個人消費は総じて弱い動きとなりました。また、設備投資はおおむね横ばいとなっているものの、輸出はアジアや欧州向けが弱含みとなり鉱工業生産も弱含みとなる等、景気は厳しい状況で推移いたしました。

海外におきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により経済活動が抑制され、足下の景気は急速に減速しました。

このような環境のなか、当社グループは、国内では、新型コロナウイルス感染防止に努めつつ、フードサービス産業等への拡販と新規顧客の開拓に注力するとともに電解水生成装置の拡販に取り組みました。

海外では、主力製品の拡販に努めたものの新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、営業・生産活動は限定的に展開せざるを得ない状況で推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は725億68百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は95億59百万円（同0.9%減）となりました。また、保有外貨資産等の円換算評価による為替差損15億70百万円を計上したことにより、経常利益は83億45百万円（同18.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億3百万円（同21.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

日本におきましては、冷蔵庫、製氷機、食器洗浄機及び電解水生成装置等の拡販並びに新規顧客への開拓を推進いたしました。新型コロナウイルス感染拡大防止活動の浸透に伴うフードサービス産業等の投資意欲減退により、売上高は506億16百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益は72億38百万円（同1.2%増）となりました。

②米州

米州におきましては、製氷機、ディスペンサ等の拡販に努めましたが、米国等における新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業・生産活動への制約と受注環境の悪化により、売上高は149億73百万円（前年同期比9.4%減）、セグメント利益は17億50百万円（同1.3%減）となりました。

③欧州・アジア

欧州・アジアにおきましては、主力製品の拡販に努めましたが、中国をはじめとするアジア各国並びに欧州地域における新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業・生産活動への制約と受注環境の悪化により、売上高は85億27百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益は6億93百万円（同29.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億11百万円増加し、3,520億98百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ15億51百万円減少し、2,797億92百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ17億63百万円増加し、723億6百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ43億25百万円増加し、1,141億74百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ45億68百万円増加し、914億47百万円となりました。主な要因は、賞与引当金並びに支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億42百万円減少し、227億27百万円となりました。主な要因は、その他の引当金の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ41億13百万円減少し、2,379億24百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による影響により、当社の主要販売先であるフードサービス産業は営業休止・営業時間短縮等、業績に大きな影響を受けており、設備投資の延期または中止を決定される顧客が増加しつつあることに加え、各国政府方針によって当社グループの生産・販売拠点の事業活動に大きな制約が生じつつあります。

新型コロナウイルス感染拡大の収束時期が不透明なことから収益悪化傾向が継続するものと思われませんが、現時点では業績に影響を与える未確定要素が多く、合理的な業績予想の算定が非常に困難であることから、2020年12月期の第2四半期並びに通期の連結業績予想をいずれも未定とさせていただきます。なお、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	215,093	207,870
受取手形及び売掛金	31,708	37,887
商品及び製品	16,376	16,088
仕掛品	3,495	3,441
原材料及び貯蔵品	10,464	10,425
その他	4,360	4,267
貸倒引当金	△155	△190
流動資産合計	281,343	279,792
固定資産		
有形固定資産	44,303	43,588
無形固定資産	4,695	4,373
投資その他の資産	21,543	24,344
固定資産合計	70,543	72,306
資産合計	351,887	352,098
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,555	20,086
未払法人税等	3,519	3,678
賞与引当金	3,348	6,906
その他の引当金	1,671	1,701
その他	61,783	59,073
流動負債合計	86,878	91,447
固定負債		
退職給付に係る負債	18,826	18,854
その他の引当金	1,477	1,304
その他	2,666	2,568
固定負債合計	22,970	22,727
負債合計	109,848	114,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,021	8,021
資本剰余金	14,543	14,543
利益剰余金	222,768	220,306
自己株式	△4	△4
株主資本合計	245,328	242,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	△32
為替換算調整勘定	△3,196	△4,814
退職給付に係る調整累計額	△1,695	△1,619
その他の包括利益累計額合計	△4,796	△6,465
非支配株主持分	1,506	1,524
純資産合計	242,038	237,924
負債純資産合計	351,887	352,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	76,057	72,568
売上原価	47,566	44,482
売上総利益	28,491	28,086
販売費及び一般管理費	18,842	18,526
営業利益	9,649	9,559
営業外収益		
受取利息	509	289
その他	166	131
営業外収益合計	676	420
営業外費用		
支払利息	22	7
為替差損	—	1,570
その他	31	56
営業外費用合計	53	1,634
経常利益	10,271	8,345
特別利益		
投資有価証券売却益	—	24
その他	9	0
特別利益合計	9	24
特別損失		
固定資産廃棄損	0	28
その他	1	3
特別損失合計	2	32
税金等調整前四半期純利益	10,278	8,338
法人税、住民税及び事業税	4,516	4,106
法人税等調整額	△1,360	△1,367
法人税等合計	3,156	2,738
四半期純利益	7,122	5,599
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	95
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,041	5,503

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	7,122	5,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	△126
為替換算調整勘定	212	△1,696
退職給付に係る調整額	61	75
その他の包括利益合計	315	△1,746
四半期包括利益	7,437	3,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,347	3,834
非支配株主に係る四半期包括利益	90	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,567	16,222	9,268	76,057	—	76,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,372	294	572	2,240	△2,240	—
計	51,940	16,517	9,840	78,298	△2,240	76,057
セグメント利益	7,153	1,772	988	9,914	△265	9,649

(注) 1. セグメント利益の調整額△265百万円には、のれんの償却額△112百万円、無形固定資産等の償却額△7百万円、棚卸資産の調整額△153百万円、その他セグメント間取引の調整等8百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,436	14,776	8,355	72,568	—	72,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,180	196	172	1,548	△1,548	—
計	50,616	14,973	8,527	74,117	△1,548	72,568
セグメント利益	7,238	1,750	693	9,681	△121	9,559

(注) 1. セグメント利益の調整額△121百万円には、のれんの償却額△105百万円、無形固定資産等の償却額△6百万円、棚卸資産の調整額△17百万円、その他セグメント間取引の調整等8百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。